

平成28年度第2回外洋常任委員会 議事録

日 時 : 平成28年9月20日(火) 18:30~20:40

場 所 : 株式会社トーヨーアサノ会議室

出席者 : (理事)

植松眞副会長、坂谷定生常務、菊池邦仁、平松隆
(委員会)

外洋計測委員会委員長 吉田豊

ルール委員会外洋規則小委員長 大村雅一

国際委員会外洋小委員長 鈴木一行

外洋常任委員会事務局 鈴木保夫

(順不同、敬称略) 合計8名

1. 開会挨拶

植松副会長: J-70 ワールド大会の日程が10月1日の団体長会議と重なってしまい、誠に申し訳ないが、出席できないので宜しくお願ひしたい。

2. 議事

1. JSAF 及び外洋艇推進グループの新組織について

坂谷常務理事: 前回の外洋常任委員会で決定した結果を外洋艇推進グループ組織図とワーキンググループの新体制を表にしたので確認願ひたい。新組織表のとおり、外洋安全委員会担当は菊池理事に、レース委員会外洋小員会担当理事には宇都理事が加わった。

後で提案するが、外洋常任委員会は適時開催から定期開催とし、回数を増やしたい。WGのメンバーは別表のとおり。ジャパンカップ及び全日本選手権大会検討委員会におけるメンバー選定については、前回会議では常務理事一人と議決されていたが改めて提案協議したところ、外洋専門委員会の委員長全員が委員になることを決定した。

2. ジャパンカップ 2016 報告について

坂谷常務理事: ジャパンカップは最終的にエントリーが8艇、79名のクルーが参加し、サマーガールが優勝した。

期限までに参加定数が足りず嘆願書が提出され、エントリー締め切りを1か月延長したが、実際には2艇がエントリーを取りやめた。

その結果、クルーの参加料が徴収できなかったため、締め切り時点でクルー全員の参加料を徴収すべきであったと感じた。

収入は313万円で、収支は約26万円の黒字決算となり、全て参加料収入で賄えた。

3.アメリカズカップの近況について

植松副会長：外人観光客や福岡マラソンと重なり、ホテルが取れない状況である。チケットは10月からローソンで販売するとのことであるが、JSAFでも割引で販売できる予定。

陸上は福岡ドームの前に観覧席を設ける。

海上での観覧は近くには寄れないようである。

TV東京が放送するとのこと。

4.専門委員会報告

吉田計測委員長：ORCの講習会を行った。IRCも河合さんに計測講習会を行ってもらおうよう予定している。

鈴木一行国際委員長：IRCとORCを普及するためと艇登録を増やすためのチラシ（案）を作成した。

坂谷常務理事：IRC、ORCとも普及のために技術は確保しておきたい。

植松副会長：普及のためには双方のレビィを下げる方策を考えたい。

大村ルール委員長：ルール改正があり、来年ルールブックが出る。

鈴木一行国際委員長：メジャー、レースオフィサー、ジャッジの若手がいないので、早急に育てたい。

5.ジャパンカップ2017の開催方針について（協議）

平松理事：先日関東4団体で会議を行った。

一部の参加者のためのジャパンカップなので意味がない、という考え方を持っている団体もあった。

やるとしたらシーボニアしかないが、お盆と重なるので難しい。

シーボニアの理事会の承諾を取り、リビエラに見積もりを取った。

運営艇等で150万円、施設利用料で120万円、パーティーや人件費を含めると計400万円位となる。

過去にシーボニアで開催した際は、冠スポンサーを獲得して500万円程度の協賛を頂き豪華に実施した。

植松副会長：スポンサーを呼ぶと経費が掛かる。

予算は450万円位を見込んだ方が良い。

公示を早く出して、4月に決定したらどうか。

坂谷常務理事：レース委員長が重要であるので早く決めた方が良い。決めるにあたってはレース委員会外洋小委員会とも調整するのが理想的である。

6.会員増強について（協議）

坂谷常務理事：今日 NHK エンタープライズに行ってきた。目的はヨットというものをもっともっとアピールしたいという狙いがあったこと。

先日クルージングの放送で NHK に協力したこともあったことと思うが、NHK エンタープライズとしては 2020 年を見据えて、いい番組を制作して映像でヨットに協力したいとのこと。

ライフジャケットの着用が義務化される中で、JSAF 登録艇には特別措置をしてもらう方向で要望していると聞いているが、このことが会員増強に結びつかないか。

大村ルール委員長：レース時は検定品のライフジャケット着用を免除してもらうことの要望をしており、実施されると思うが直接の会員増強には結びつかないと考え

7.外洋常任委員会の定期開催について

坂谷常務理事：年間の開催予定が決まっていれば、出やすいとの意見があった。

回数を増やして、開催日を決めておきたい。場所は東京とする。

坂谷常務理事：常任委員会を2か月に1回開催する方向で調整する。

大村ルール委員長：理事会に合わせたらどうか。

8.外洋加盟団体長会議における議題の調整について（協議）

坂谷常務理事：団体長会議の議題を<報告事項>から委員会の事項を切り離し、<外洋専門委員会からの報告>に入れる。

<協議事項>に、艇登録に関する議題と総務委員会からの会費の徴収方法についての議題を付け加える。

資料は1週間前までに各団体にメールする。

9.外洋加盟団体長会議の第6回以降の日程の調整について（協議）

坂谷常務理事：団体長会議は現在、1月と10月に開催しているが、6か月に1回の開催とし、1月と7月にしたらどうかと考えている。

鈴木一行国際委員長：7月はレースがあるので8月下旬にしたらどうか。

坂谷常務理事：団体長会で意見を聞いたうえで調整したい。

以上。

文責：鈴木保夫